

適用規格		MIL-STD-348B				
定格	使用温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)		
	電力	-- W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ 30 GHz)		
	特殊性	----	使用ケーブル	—		
性能						
	項目	試験方法	規格	QT	AT	
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		—	—	
電気的性能	接触抵抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 6 mΩ 以下 外部コンタクト 6 mΩ 以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○	
	耐電圧	AC 500 Vの電圧を1分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡、絶縁破壊がないこと。	○	○	
	電圧定在波比 ①	周波数 0 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	—	
		周波数 6 ~ 25 GHzにて測定する。	VSWR 1.35 以下	○	—	
		周波数 25 ~ 30 GHzにて測定する。	VSWR 1.5 以下	○	—	
挿入損失	周波数 --- ~ --- GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—		
機械的性能	単体挿抜力	φ の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	—	—	
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿入力 65 N以下 引抜力 16 N以上	○	—	
	繰り返し動作 ①	100 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 12 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐振性 ①	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で3軸方向各10サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐衝撃性 ①	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸方向各3回試験する。		○	—	
	ケーブルクランプ部の引張り強度	--- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け、断線が発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 --- N以上	—	—	
環境的性能	温湿度サイクルの耐湿性 ①	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に10サイクル(240時間)放置する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ 以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	温度サイクル ①	温度 -55 → --- → +125 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3分を5サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	塩水噴霧 ①	濃度 5 %の塩水, 48時間放置する。	VSWR 1.2 以下 (0~6GHz) VSWR 1.35 以下 (6~25GHz) VSWR 1.5 以下 (25~30GHz)	○	—	
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
備考	注 ① 基板実装後の性能となります。			承認	TO. KATAYAMA	18.06.05
				検図	KY. SHIMIZU	18.06.05
				担当	TM. YOSHIDA	18.06.05
				製図	TM. YOSHIDA	18.06.05
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。						
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-373491-00-00		
HRS	製品規格表		製品名	SMP-LPR (FD)-SMT-1		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL338-1105-0-00	△ 1/1	